

# わがまち紹介

## 龍ヶ崎市

笑顔が続く 幸せが続く 住み続けたいくなるまち 龍ヶ崎

株式会社筑波銀行 龍ヶ崎支店長  
**菊池 聡**



龍ヶ崎市長  
**萩原 勇氏**

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとのつながりを深めるべく取り組んでいます。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。今回は茨城県龍ヶ崎市です。筑波銀行龍ヶ崎支店長 菊池 聡が龍ヶ崎市長 萩原 勇氏にお話を伺いました。

### 龍ヶ崎市の魅力を発信し 交流人口を増やす

2022年1月に市長に就任し、早いもので3年が経ちました。龍ヶ崎市がより魅力的なまちになるよう、副市長や教育長をはじめ、職員とともに一丸となって市政を進めていこうという決意のもとに2025年をスタートしました。

これまで龍ヶ崎市を内や外から見ていて、改めて本市の課題として認識しているのは、人口の減少です。現在、本市の人口は約7万5千人ですが、合計特殊出生率は0.98と低く危機的状況にあります。

2023年は出生数が340人で自然減が約600人でした。社会増減では外国人の増加もあって流入が上回り、現在は年間マイナス300人程度で推移しています。

1月12日に令和6年度龍ヶ崎市二十歳のつどいを開催しました。現在、二十歳の市民が約700人なのですが、2023年の出生数と比較すると、20年後には約半分に減ってしまうということになります。

本市でもさまざまな人口減少への対策を講じていま

すが、あらゆる機会を通じて私が市民の皆さんにお願いしているのは、「お子さんやお孫さんに龍ヶ崎市に住むことを勧めてほしい、このままでは龍ヶ崎市がなくなってしまうかもしれない」という危機感を共有してほしいということです。

龍ヶ崎市は、東京から45キロ圏内と近くて行きやすい、生活に不便がない、程よい田舎というイメージに加えて、楽しいところ、子育てしやすい、遊ぶところもたくさんあるという魅力もあります。

こうした魅力をしっかりと発信し、いろいろな方に来ていただくことで交流人口を増やす、ファンを増やすということを、政策に落とし込んでいるところです。

### スポーツライミングを まちづくりの柱に

現在、本市では、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎推進事業」を行うなど、スポーツ振興に力を入れています。その理由の一つは、スポーツや文化、アートに携わる人の持つ圧倒的な伝える力、感動を与える力をまちづくりに生かしたいと思ったからです。

本市が誇る唯一無二の魅力、それはスポーツライミングとの縁が深いことです。競技の第一人者であり、東京2020オリンピックで銅メダルを獲得した本市出身の野口啓代さん、東京2020オリンピックに続き、パリ2024オリンピックに出場した榎崎智亜選手の活躍により、スポーツライミングは、市民の高い関心や注目を集めています。

つくば市の森秋彩選手など世界トップレベルの選手が周辺地域に在住し、野口さんや榎崎選手の声かけで本市に集結することもあります。イベントなどを通して世界のトップ選手とふれあえるという特別な環境が本市にはあるのです。

2025年3月には、野口さんと本市の共催により、小中学生を対象としたボルダージュース大会、「AKIYO'S DREAM with RYUGASAKI」を開催します。将来的には「ジャパンカップ」等の全国規模の大会や、「ワールドカップ」等の世界規模の大会を本市で開催できるように招致を進めていきます。

日本はもとより、世界の有力選手が集まるようになれば、スポーツライミングのまちとしての本市の認知度も格段に上がるものと期待しています。

スポーツライミングには、頭を使いながら体を動かすなど健康面での効果もありますから、子どもから大人まで幅広い層の市民に体験していただきたいと思っています。

本市には、1964年の東京オリンピックの柔道中量級で金メダルを獲得した岡野功さんをはじめ、ゆかりのあるオリンピック選手が多数います。

これから市民の皆さんがスポーツライミングにふれていくなかで、将来的に「4年に1回は必ずオリンピックを出したい」と市民が丸となって応援していくような雰囲気になると、まちも盛り上がってくると思っています。

## 「大学のあるまち」をコンセプトに各分野で協働

市内に流通経済大学があることも、本市の特筆すべき魅力の一つと考えています。龍ヶ崎キャンパスには、全国トップレベルの実力がある運動部で活躍する学生が1,000人以上在籍しています。2025年1月の第103回全国高校サッカー選手権大会では、流通経済大学附属柏高等学校が準優勝しました。龍ヶ崎の人はみんな、テレビで応援したり、現地で観戦したりと盛り上がりました。それは、市民の皆さんが「流通経済大学」という名前に親しみを感じているからだと思います。

1965年の開学以来、流通経済大学と本市は、「大学のあるまち」としてさまざまな場面で、ともにまちづくりをしてまいりました。2004年2月に「龍・流連携」事業に関する協定を結んでからは協力関係をさらに強化し、スポーツをはじめ、教育・文化、産業、人づくり・まちづくりなどの各分野で協働して事業を展

開しています。

流通経済大学の学生には防犯パトロールや健康教室などで大いに活躍してもらっています。市民の皆さんが学生たちと一層交流を深め、農業や福祉などの分野でもコラボできないかと模索しているところです。

## 豊かな自然と伝統文化を生かした観光を推進

観光施策の大きな目玉の一つは、龍ヶ崎市森林公園のリニューアルです。「アドベンチャーバレー龍ヶ崎」として、森の中のアクティビティ（フォレストアドベンチャー）やマウンテンバイクトレイル（トレイルベンチャー）、オートキャンプ場、バーベキュー場などが随時整備され、「遊んで、食べて、泊まれる公園」をキャッチフレーズに、2025年3月にグランドオープンします。

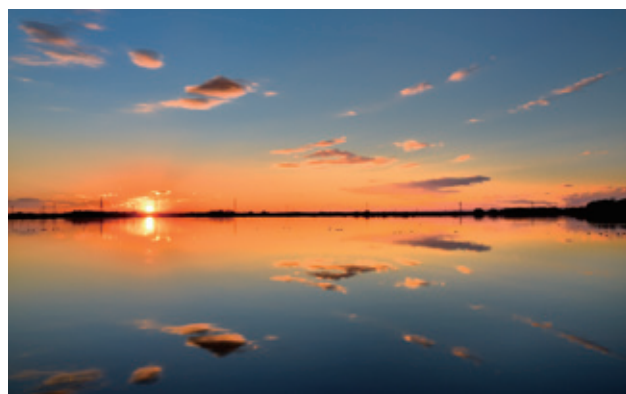
森林公園は、フォレストアドベンチャーとして全国43番目の施設となります。Park-PFI制度を活用した公募を行ったところ、森林公園の樹木や立地、敷地面積などが評価されて選んでいただいたようです。

民間事業者による運営・管理により、効果的かつ効率的な魅力創出が期待されるとともに、市の財政的負担の軽減が図られました。

2024年7月、10月と順次施設をオープンし、2025年1月で7か月目となりますが、6か月間で来園者は4,200人を超えました。10月の第二弾オープンでは、立木を利用したクライミングウォール「クリフチャレンジャー」の特別コースで野口啓代さんを招いたイベントを開催するなど、さまざまなイベントを毎月開催しています。

今回のリニューアルで、森林公園は自然豊かな特長を生かし、子どもから大人まで楽しめる魅力ある施設へと生まれ変わったと感じています。

それから市民の皆さんが観光資源としてイメージされるのは牛久沼です。2024年1月には牛久沼周辺市町と茨城県などが、牛久沼のポテンシャルを活かし、周辺地域のさらなる魅力向上や地域経済の活性化を促進させるため、「牛久沼活用推進協議会」を立ち上げました。そのなかで沼を1周するトレイルコースを設定するなど、交流人口増加につながる取り組み



「日本の夕陽百選」に登録された牛久沼の夕陽



を行っております。なお、2024年8月には、「日本の夕陽百選」に牛久沼が登録されました。

約450年続く伝統芸能で、国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞」の継承にも力を入れています。保存・伝承の中核を担う龍ヶ崎市撞舞保存会の皆さんをはじめ、高さ14メートルの撞柱の上で「舞男」として演技するために、普段から鍛錬を欠かさない龍ヶ崎鳶職組合の皆さんには本当に感謝しています。



龍ヶ崎市の伝統芸能「撞舞」

急速に変化を遂げる時代に応じて変わる必要のある事物がある一方で、伝統は何十年、何百年をかけて築いてきたものです。それを大事にして他の地域との差別化も含めて観光振興を図っていけば、新旧が交わる龍ヶ崎らしい風土になっていくと思います。

## 子育て・健康福祉・教育分野で課題解決の取り組み

子ども・子育て支援の充実も政策の重要な柱の一つです。本市では、心身の発達に課題のある子どもたちへの支援を充実するため、2022年4月1日に従来の施設をリニューアルし、「こども発達センターつばみ園」としてオープンしました。

本園は、茨城県の指定を受けた児童発達支援センターです。0歳から18歳未満のお子さんの発達に関する相談を受け付けるほか、通所支援として、日常生活に必要な基本動作や知識等の習得、集団生活や社会生活に適応するために必要な支援を行っています。

公認心理師や言語聴覚士、作業療法士、理学療法士といった医療機関でもみられるような専門スタッフを配置していることが特徴の一つで、来園後すぐにお子さんの発達に関する判断をさせていただいて、早速トレーニングに入る体制を整えています。

茨城県内でも専門的な児童発達支援に特化した貴重な施設で、安心して子育てができるようサポートしています。

また、子育て支援や健康づくりの新たな拠点として保健福祉棟が市役所隣接地に2025年4月にオープンする予定です。

この施設には、1階に健康・子育て・高齢者福祉に関する窓口、2階は健診エリアとなります。また、「福祉コンシェルジュ」を配置することで、子育てや健康、福祉に関する相談をワンストップで受けられる体制を整備しました。

3階には、世代間交流を図る場所として「多世代交流センターRINK(リンク)」を設置します。大人数

で使えるようなスペースのほか、会議室や調理室もあります。夜9時まで利用できますので、子どもからお年寄りまで、この空間を健康イベントや会議、勉強などさまざまな用途で使っていただけることを楽しみにしています。

児童生徒の減少にとまない、教育環境の質の維持を目的に、小中学校の統廃合も進めていきます。2027年4月には、北竜台地区の松葉小学校と長山小学校、長山中学校を統合して、市内初の義務教育学校「北竜台学園」が開校する予定です。災害時には、防災拠点としての役割も担い、体育館にはエアコンを完備します。

また、廃校跡地の利活用として、旧城南中学校は広く民間事業者等から活用提案をいただき、複合商業施設となることが決定しています。

## 広報紙とLINEで情報発信 今後は動画も活用したい

市民向けのシティプロモーションとして広報紙『りゅうほー』を発行しています。2021年から2023年まで3年連続で茨城県広報コンクールに入選し、特に2023年は、「広報写真部門(一枚)」準特選、「広報紙部門」入選、「広報写真部門(組み)」入選し、応募した広報紙3部門すべてで入選したのは初めての快挙です。さらに2024年には、同コンクールで最上位の賞である「特選」を27年ぶりに受賞しました。特集記事の内容や印象的な写真などが評価されています。



令和6年茨城県広報コンクール「広報紙部門」特選を受賞した『りゅうほー』表紙

また、龍ヶ崎市公式LINEアカウントを開設し、「龍ヶ崎市の暮らしがもっと楽しく」なることを目的に、行政情報や市内のイベント情報などを週3回程度配信しています。登録者は約4万人と重要な情報発信ツールとなっています。

今後は動画を使ったコンテンツの充実にも努め、積極的に情報発信を行っていきます。

## 筑波銀行に期待すること

筑波銀行さんなどの金融機関の強みは企業などの情報を持っていることです。本市には駅近くの土地など開発可能な優良な土地が多くあります。筑波銀行さんにはマーケティング的な視点から企業誘致やデベロッパーさんなどに関する情報をご提供いただき、本市発展にご協力いただけるとありがたいと思います。(取材日:2025年1月17日)

わがまちの

## ふるさと納税

## 龍ヶ崎市

このコーナーでは、「支店長のわがまち紹介」で取材させていただいた市町村の施策や事業、取り組みなどを紹介しています。

### ふるさと納税を通じて龍ヶ崎市の魅力を伝えます

ふるさと納税は、生まれ育った故郷や応援したいと思う街を寄附を通じて応援することができます。また、寄附をいただいた方へ返礼品をお送りすることで、龍ヶ崎市の魅力を全国の方に知ってもらうことを目指しています。龍ヶ崎市にも、日々ふるさと納税を通じ全国から多くの応援、励ましをいただいています。皆さまからいただいた「思い」を大切にしながら、住み続けたい、魅力ある龍ヶ崎市を創るため、日々努力してまいります。引き続き、皆さまからのご支援をよろしく願いいたします。



▲龍ヶ崎市のふるさと納税の詳細はこちらから

### 龍ヶ崎市の特徴ある返礼品

龍ヶ崎市ならではの特徴ある返礼品を通じて、地域の産業を元気にしていくことはもちろん、寄附をいただいた方には、龍ヶ崎市を知ってもらい、魅力を感じ、龍ヶ崎のファンになっていただくと幸いです。龍ヶ崎市では、お米や肉などの食料品はもちろん、工芸品や洗剤などの日用品、体験チケットなど、約500品目の返礼品をラインナップしています。

[返礼品の一例] ※これ以外にも多数ご準備してございます。



老舗テ일러「メンズヨシワラ」のオーダーメイドスーツ



「龍ヶ崎カントリー倶楽部」の利用券  
(倶楽部会員限定)



熟達した職人が作る「KAGAMI」のクリスタルグラス

### 寄附金は住み続けたいまちづくりに活用しています

2024年度も全国の皆さまからたくさんの寄附をいただいています。12月末現在で寄附件数は約8,000件、寄附金額は約3億1千万円で前年同月比で138%となっています。いただきました寄附金は、子育て支援、にぎわいづくり、健康づくり、環境保全など、住み続けたい龍ヶ崎市の実現に向けて活用させていただいています。

#### 【寄附金の使い道】

- 未来を担う子どもたちのための事業  
子育て支援策の充実、魅力ある学校・地域づくり、教育施設の充実、子どもたちの安心・安全の確保、各種交流事業の実施
- 活気、にぎわい及び新たな活力を創造し、まちの魅力を高めるための事業  
特産品のブランド化・PR、流通経済大学運動部の支援、世界レベルで活躍するアスリートの育成、森林公園の充実、中心市街地の活性化、牛久沼の有効活用、市民協働事業の推進、新たな企業誘致、起業家の育成
- 市民誰もが健康で安心して暮らせる環境を育てるための事業  
福祉の充実、医療体制の確保、災害に強いまちづくり、防犯対策の強化、公共交通体系の充実、身近な商業の充実
- 豊かな自然と地域文化を守り、はぐくみ、及び次代に受け継ぐための事業  
牛久沼の環境保全、撞舞をはじめとする伝統芸能の伝承、森林の保全
- その他市長が必要と認めるもの